

平成29年度 岩手県立水沢高等学校 学校経営計画



【教育目標】

真善美を常に求め、自主自律の精神と創造建設の気魄に満ち、友愛と信義を重んずる心身ともに豊かでたくましい人間の形成を図る

《求める学校像》

- 1 「友愛・清新・気魄」のモットーの下、生徒と職員と保護者が信頼の絆で結ばれ、互いに切磋琢磨できる学校
- 2 自主自律の精神を培い、自らの学問を切り拓く意欲を向上させる学校
- 3 文武両道を旗印に、学習・部活動・学校行事に全力で取り組み、共生と連帯奉仕の態度を培い、心豊かでたくましく、品位ある人間を育成する学校
- 4 郷土愛と母校愛に溢れた、地域と社会に貢献できる生徒を育成する学校

平成29年度経営方針

- 1 飛龍2世紀の幕開けの下、発見と追究により飽くなき前進の気魄を持って、新しい水高100年の発展の基礎づくりを進める。
- 2 その根本として、「新世紀」を教職員・生徒ともに自覚し、学校経営と教育活動のあらゆる面に於いて、前例踏襲を廃し、創意工夫に努める。
- 3 改めて、地域に於ける本校の使命、本校への期待の具体を確認し、それに応える取組を強化する。
- 4 取組を実効あるものにするため、絶えずPDCAサイクルの観点から、優先度と重点度を点検し、改善を進める。
- 5 東日本大震災を心に銘記し、いわての復興へ向けた支援・交流活動に学校を挙げて取り組み、協力する。
- 6 希望郷いわて国体・大会のレガシーを継承するため、文化・スポーツの振興に取り組む。

平成29年度岩手県教育委員会 経営方針 (項目のみ)

- ◆東日本大震災津波からの教育の復興
  - I きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実
    - 1 「いわての復興教育」の推進
    - 2 幼児児童生徒の心のサポートの充実
    - 3 児童生徒の安全で安心な教育環境の確保
  - II 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承
  - III 社会教育・生涯学習環境の整備
  - IV スポーツ・レクリエーション環境の整備
- ◆「いわて県民計画」第3期アクションプランの着実な推進
  - I 学校教育の充実
    - 1 児童生徒の学力向上
    - 2 キャリア教育の充実
    - 3 豊かな心を育む教育の推進
    - 4 健やかな体を育む教育の推進
    - 5 特別支援教育の充実
    - 6 家庭・地域との協働による学校経営の推進
    - 7 学校施設の整備
  - II 社会教育の充実と生涯を通じた学びの環境づくり
  - III 文化芸術（学校における文化芸術）の振興及び文化財の保存と継承
  - IV 豊かなスポーツライフの振興
    - (1) 学校におけるスポーツライフの振興
    - (2) 競技力向上の推進
  - V 業務推進の基本姿勢
    - (1) 教育行政の推進機能の充実
    - (2) 市町村教育委員会との連携
    - (3) 行動規範の確保
    - (4) 教職員の資質・能力向上の推進
    - (5) 現場支援としての事務局体制の強化
    - (6) 組織横断的な業務推進
    - (7) 業務の効率化及び質の向上
    - (8) PDCAサイクルを踏まえた経営計画の推進
    - (9) 「いわて県民計画」アクションプランの着実な推進
    - (10) 新たな組織体制による効果的な業務遂行

- 学校に対するニーズ
- (生徒が学校に望むこと)
- 1 生徒一人ひとりを大切にする指導により、学習に取り組む意欲を高め、生徒の学力向上を  
 <学校評価 生徒 2・3・9・16>
  - 2 学校生活や学校行事、部活動、進路指導などの一層の充実を  
 <学校評価 生徒 5・11・14・17・19>
  - 3 生徒のみならず、中学生や保護者、地域への学校情報の発信を  
 <学校評価 生徒 4・6・7>
- (保護者が学校に望むこと)
- 1 教師の授業改善などにより、生徒の授業満足度の向上と学力向上を  
 <学校評価 保護者 3・7・14>
  - 2 生徒個々に応じた生活指導と、きめ細かい進路指導を  
 <学校評価 保護者 2・8・9・11>
  - 3 生徒や保護者だけでなく、中学生や地域へも学校情報の発信を  
 <学校評価 保護者 5・6>
- (地域が学校に望むこと)
- 1 学力の向上と進学実績の向上を
  - 2 学校行事や部活動等の充実による学校の活性化と魅力ある学校づくりを
  - 3 地域と社会に貢献する人材の育成を

3 つ の 柱 と そ の 重 点

I 社会の期待に学校が応えるため

- 1 SSH事業の充実に努める。  
 第4期開始年度 事業の着実な実施
- 2 活力と魅力ある学校づくりに努める。
- 3 教育活動に関する情報発信及び教育情報の提供に努める。
- 4 保護者や同窓生、地域の人々と一緒になって生徒を育てると意識の高揚を図る。
- 5 地球温暖化対策を念頭に置き、省エネ・省資源に全校をあげて取り組む。  
 \*数値目標
  - 1 SSH事業に参加して、「満足した」と答える生徒の割合を、85%目標とする。
  - 2 ① 子供が本校に入学して良かったと答える保護者の割合を、90%目標とする。  
 ② 本校に入学して良かったと答える生徒の割合を、85%目標とする。
  - 3 学校は中学生や地域等へも積極的に情報発信を行っている割合について、生徒は75%、保護者は70%を目標とする。
  - 4 PTA総会・同窓会総会の参加者数は、前年度比5%増を目標とする。
- 5 温室効果ガス排出量及びゴミ排出量の前年度比1%削減を目標とする。

II 生徒の学校生活を充実させるため

- 1 生徒の学力向上と進路目標の達成に努める。  
 観点別学習状況評価の推進
- 2 部活動や特別活動の充実に努める。
- 3 授業力など指導力の向上に努める。
- 4 健やかな心身を育む健康指導の充実に努める。  
 \*数値目標
  - ① 学習実態調査(7月)において、授業が分かると答える生徒の割合を、83%目標とする。
  - ② 2年基礎力確認調査での正答率について、国語72%、数学75%、英語75%を目標とする。
  - ③ 上記調査と同時に実施される意識調査において、授業が分かると答える生徒の割合を、数学75%、英語65%を目標とする。
  - ④ 授業と連動した課題を適切な質と量で出し、事後の点検を行っている教員の割合を、95%目標とする。
  - ⑤ センター試験では、各教科・科目とも全国平均を上回ることを目標とする。
  - ⑥ 「いわて県民計画における児童生徒の学力向上」において、進学希望達成率92%、4年制大学進学希望達成率87%を目標にする。
- 2 「先生は部活動の活性化に努めている」と答える割合について、生徒は80%、保護者は80%を目標とする。
- 3 研究会を伴う授業公開を行った教員の割合について、80%を目標とする。
- 4 健康診断や健康相談等、疾病の予防と健康管理について、適切な指導が行われていると答える教職員の割合が85%を維持することを目標とする。

III 生徒が将来を担う基礎を固めるため

- 1 自主的活動を促進し、リーダーシップと協調性、創造力と思いやりの心を育む。
- 2 キャリア教育の充実に努める。
- 3 被災地の復興支援や被災地の児童・生徒との交流に継続して取り組む。  
 \*数値目標
  - 1 学校生活が充実していると答える生徒の割合を80%、学級が楽しいと答える生徒の割合を85%、部活動に積極的に取り組んでいる生徒の割合を85%、学校行事が楽しく充実していると答える生徒の割合を85%目標とする。
  - 2 生徒個々に適した、きめ細かい進路指導を行っている割合を80%目標とする。
  - 3 全生徒・全教職員が、機会を捉えて、年に1回は復興支援に係る活動に参加する。

授業の充実、部活動の充実、特別活動の充実

情報データベースの構築と分析、そして改善・行動

教職員・生徒・保護者による学校評価、生徒による授業評価、学校評議員による提言・評価、地域・小中学校・進路先からの声